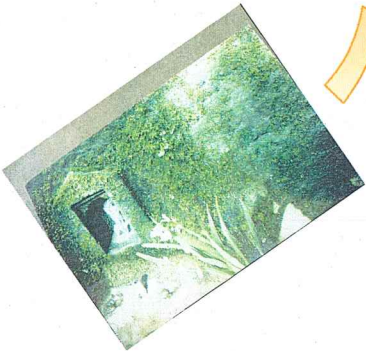


服間

小次郎



パンフレット



目次

2～3 ページ

佐々木小次郎の秘密

4～6 ページ

小次郎生誕地！！

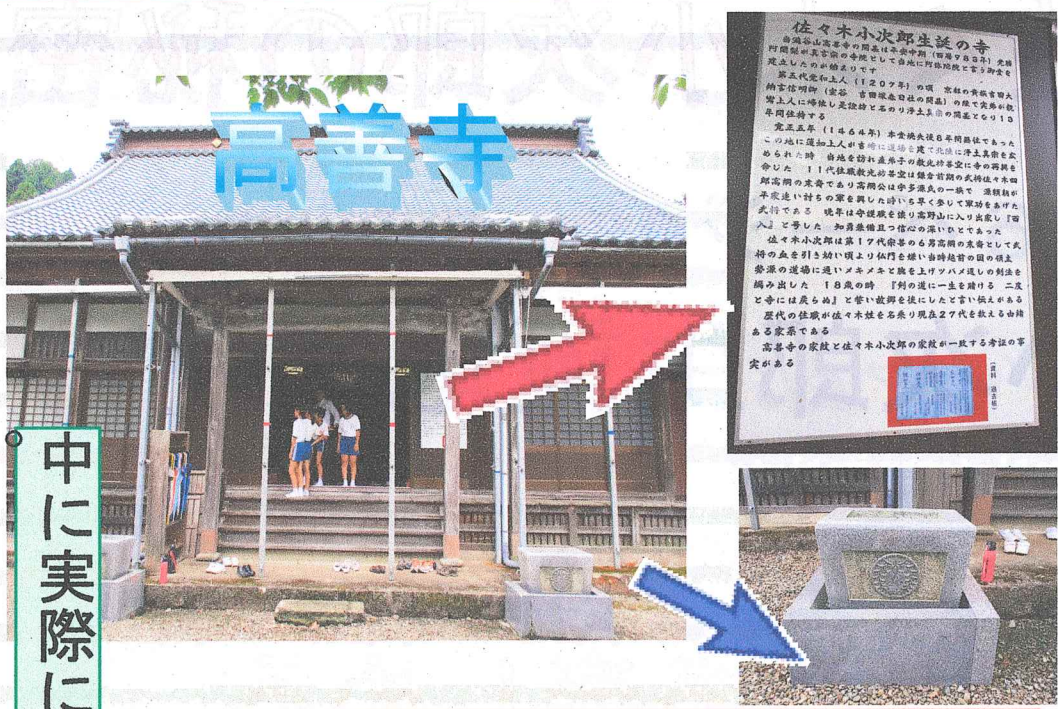
7～8 ページ

春夏秋冬楽しめる

小次郎公園

佐々木小次郎の秘密

佐々木小次郎は福井県越前市北坂下町の高善寺で生まれ、「小太夫」と名付けられました。六番目の子どもだったのであだ名が「小六」でした。小太夫は一乗滝と柳の滝へ毎日修業にいきました。十八才の時に、「二度とこの寺にはもどらぬ。」と言い、自分の茶わんを割って寺を出て行きました。



中に実際に入って見ました

茶わんを割った理由は、もどつてきたときに、自分の茶わんがないと、ご飯が食べられないからです。つまり、ご飯を食べにもどらない、自分一人でやっっていくということです。

服間地区は佐々木小次郎の町。小次郎にはたくさん「秘密」があります。



これは、小次郎公園にある佐々木小次郎の像です。かっこいい服を着て剣を持っています。

そのうちに、名前が変わり今の小次郎になりました。そして、宮本武蔵と山口県の下関にある「船島」(巖流島)で戦いましたが、一発勝負で負けてしまいました。

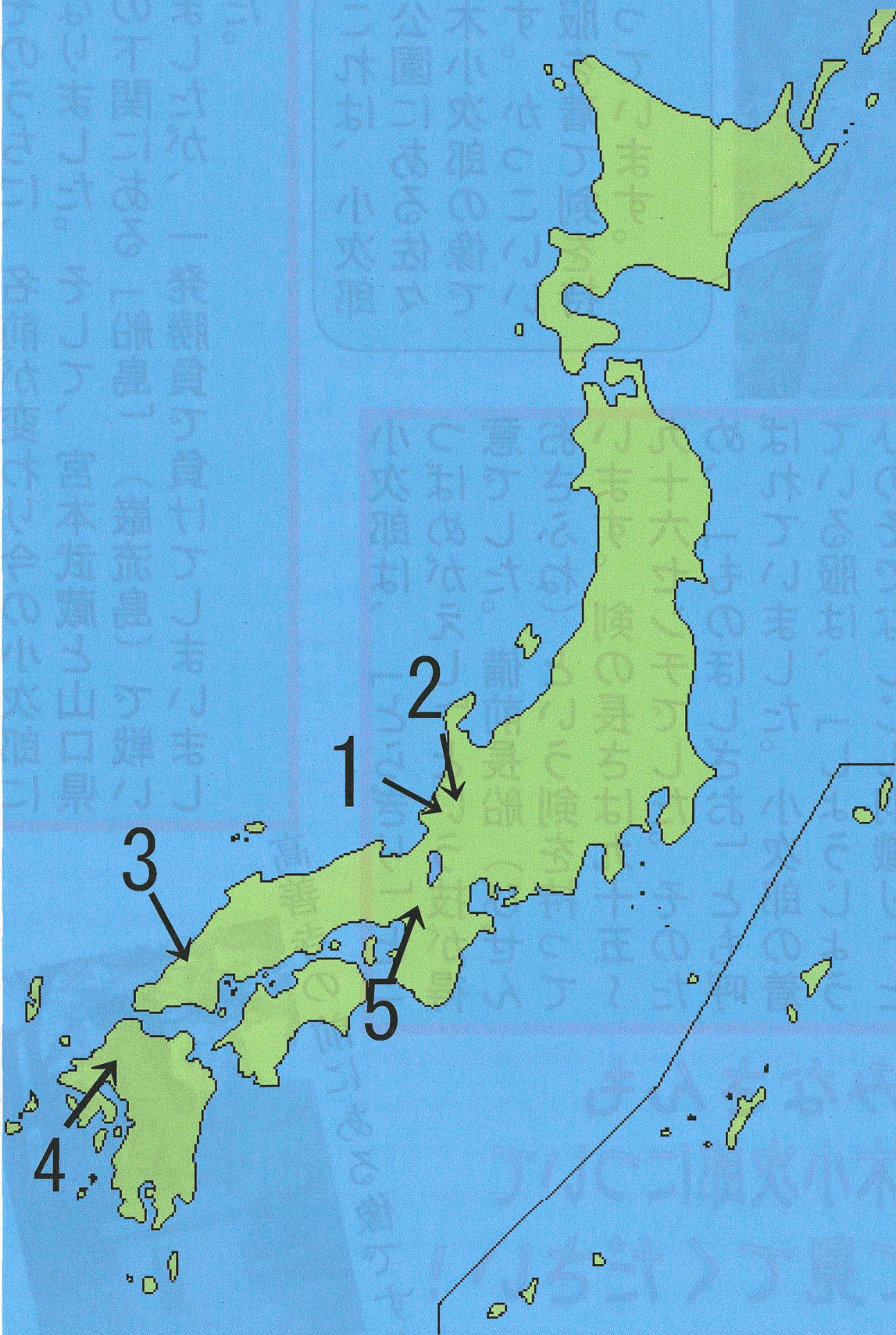
小次郎は、「とらぎり」と「つばめがえし」という技が得意でした。備前長船(びぜんおさふね)という剣を持っていきます。剣の長さは九十五〜九十六センチでした。そのため、「ものほしざお」とも呼ばれていました。小次郎の着ている服は、「しょうじょうひのそでなしじん羽織り」というそうです。

みなさんも
佐々木小次郎について
調べて見てください!

高善寺の前にある像です!



全国小次郎生誕地

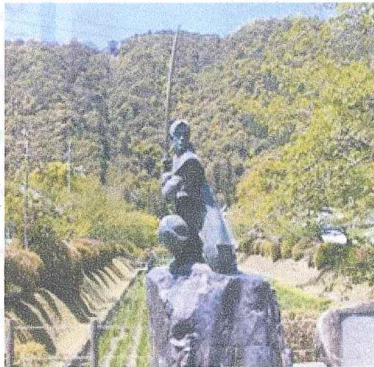


1, 高善寺



福井県越前市にある。小次郎の家系図や手紙などのいろいろなしょうこが残されている。

3, 岩国



山口県岩国市。ここにある錦川で、小次郎は「つばめ返し」をあみだしたと言われている。

2, 浄教寺

福井県福井市にある。小次郎はこの近くにある一乗滝で、「つばめ返し」をあみだしたとも言われている。

4, 豊前



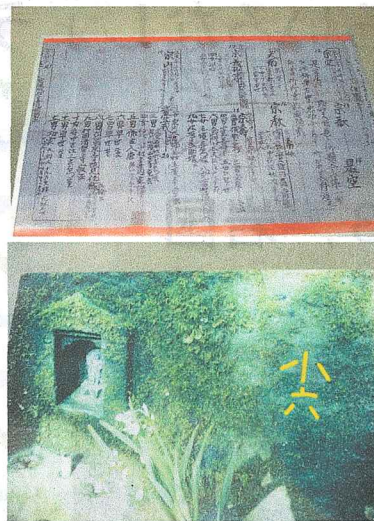
福岡県田川郡。小次郎はけん術師はんとして重用されていたことが分かり、生誕地と言われるようになった。

5, 近江観音寺

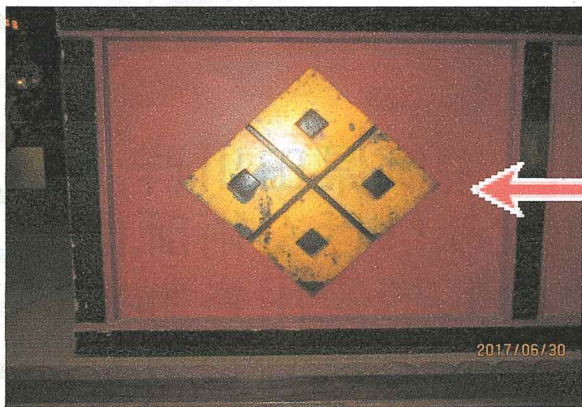
滋賀県近江八幡市にある。小次郎はこのお寺で生まれ、育ったと言われている。

小次郎生誕地!!

全国には数々の小次郎生誕地と言われている場所があります。その中でも福井県越前市北坂下町の小次郎公園の奥にある高善寺が生誕地として確率が高いと思われます。その理由の一つは、高善寺が佐々木姓であるとということ。そこで生まれ小太夫が佐々木小次郎という確率が高くなります。そして高善寺と小次郎の家紋が一致している。高善寺が生誕地としてより確率が高いと考えられます。



佐々木家の家紋



小次郎公園の高善寺が生誕地として一番確率が高いと思われます。その理由とは・・・

他にも、小次郎公園の高善寺には、佐々木家のかちょう(家系図)が残っている。小次郎の小さいころの名前は「小太夫」ということが分かります。そして、小次郎が修行をした証拠として、岩に「小太夫のあだなの」 「小六」という文字がほられているなど、いろいろな証拠があります。

春夏秋冬
楽しめる小次郎生誕地公園

子供から大人まで楽しめる公園

小次郎生誕地公園は、福井県越前市北坂下町にあります。ここは、つばめ返しを編み出した、佐々木小次郎の生誕地である高善寺に隣接している整備された公園です。歴史的に意義を持つ小次郎公園には、小次郎像や、池、滝、石舞台などがあります。

春にはきれいな桜の花、夏には青葉、秋にはオレンジ色や、黄色の紅葉、冬には枝に咲く雪の花、と、いうように、四季折々、楽しめます。



春に咲く桜の種類は二十三種類もあります。フナバラヨシノやオオカンザクラなど二十三種類もの桜を時期をずらして見ることが出来ます。



(小次郎の像と滝があります。)



(目の前には鯉が泳いでいます。)

パンフレット作成者

平成29年度 6年生 13名

発行 平成29年 10月

